

# 環境報告書に対する監事監査意見書

## Auditors' Review

農環研では、環境報告書を開示する内容の信頼性を高めるために、農環研の監事による監事監査を経て環境報告書を発行しています。

### 独立行政法人農業環境技術研究所「環境報告書 2014」に対する監事監査意見書

平成 27 年 1 月 20 日

独立行政法人農業環境技術研究所

理事長 宮下 清貴 殿

独立行政法人農業環境技術研究所

監事 水谷 順一

監事 堀 雅文



水谷、堀の両名は、独立行政法人農業環境技術研究所作成の「環境報告書 2014」について、業務監査の一環として行っている環境監査の結果と併せて監査を行い、協議の上、本監事監査意見書を作成しました。以下の通り報告いたします。

#### 1. 環境監査の目的

当研究所は、事業そのものが環境に関する研究であります。よって、当研究所の作成する「環境報告書 2014」は、理事長はじめ全職員の業務執行の結果そのものであると認識し、監事監査の対象としました。監査の目的は、同報告書の信頼性を独立した立場から監査し、その結果を報告することです。

#### 2. 監査項目と監査方法

##### (1) 環境報告書の自己評価体制とその機能の有効性について

- \* 監査報告書作成担当部署以外の評価部署の評価体制とその実態
- \* 評価部署における評価項目と評価内容

##### (2) 監査報告書の内容の信頼性について

業務監査の一環として、環境マネジメントシステムの有効性・機能性および法令・規則の遵守状況を、関連会議の出席、重要資料の閲覧、現場調査等の方法で監査を行っています。その業務監査の結果と、その基礎になる関連資料と本環境報告書の内容（環境マネジメント、各種環境パフォーマンス数値等）との整合性について監査しました。

#### 3. 環境監査の結果

##### (1) 環境報告書の自己評価体制とその機能の有効性について

環境報告書作成部署とは別の部署である監査室が環境報告書を評価する体制をとり、「環境報告ガイドライン(2012 年度版)」(環境省)に基づき、「環境会計ガイドライン(2005 年度版)」(環境省)を活用し、適確且つ忠実に自己評価していることを認めます。

##### (2) 環境報告書内容の信頼性について

環境マスタープランの 2013 年度取組実績は上水使用量と用紙等使用量は削減目標を大きく上回り、二酸化炭素排出量も概ね目標達成しています。3 大難工事(受変電設備改修、研究本館耐震改修、全棟エネルギー施設改修)で発生した産業廃棄物量は一過性で突出した数量の為、別扱いで把握願います。エネルギー個別使用量で化石燃料の都市ガスだけが突出した理由は 3 月の暖房運転が地域冷暖房から個別運転に切替り単月比で 8 倍に急増した為です。今後、全棟個別運転の切替で、都市ガス使用量のみ増加しますが、つくば地域冷暖房で見れば減少します。電力使用量も節電意識が確り定着し、次年度契約電力を 500kw 下げる方向です。3 大難工事も資材高騰、職人不足、2~3 月大雪の中、工期を守り、1 台の仮設暖房もせず、無事故で予算内に納め、構内緑地も見事に復元した実績を讃えます。

農環研の一般公開を春 2 日間から春・夏各 1 日の農研機構と同日 2 回開催に切替えて参加者数が 2.5 倍(約 2500 人)に急増し、特に将来を担う小中学生が親子で暑い夏休みに大勢、元気に楽しく一般公開に参加して農業環境に興味を持たれた事、農環研創立 30 周年記念で研究会やシンポジウムの開催件数を 2 倍に増やし広報活動を充実させ、「農林水産研究成果 10 大トピックス」に 2 件筆頭名で推薦され若手研究職員の成長や農環研ファンが急増する素晴らしい年度と評します。以上。